令和４年度事業報告

１．概要

我が国においては、人口減少及び少子高齢化がますます進行している中、地域の人手不足や地域活性化が大きな課題となっており、働く意欲と能力のあるすべての高齢者が、年齢にかかわりなく活動を続ける「生涯現役社会」の実現に向け、高齢者の生きがい及び居場所づくりを担っているシルバー人材センターには、より多くの期待が寄せられている状況です。

当センターでは、地域の高齢者が長年培ってきた豊富な経験と知識、技能を活かすことができる就業機会を確保し提供することにより、健康の維持や増進を図り、加えて社会参加を促進することで、地域社会づくりに貢献してきているところです。

令和４年度についても昨年度と同様に新型コロナウイルス感染症が蔓延し、福岡コロナ警報が断続的に発令されるなか、経済の回復に向けて行動制限等については大幅に緩和されましたが、ロシアのウクライナ侵攻による原油価格の上昇に伴い、物価が急激に上昇し、大きく経済が後退したことは否めません。

一部のイベント等について復活はしたものの、センターの事業については回復しきれておらず、未だ大きく影響を受けている状況です。

また、会員の減少に伴う影響も大きく、会員の増加或いは退会抑制策を講じていく必要性が重要になっています。

事業実績については、令和４年度は前年度対比 1,942 千円の減で 155,092 千円となりました。また、就業率（就業会員数／総会員数）については、未就業会員対策等を進めましたが、前年度対比 0.3 ポイント減の 94.1％となりました。これからも公益社団法人として、市町民の皆様の信頼を得ながらセンターの基本理念を十分認識し、公共公益性を自覚して運営を行って参ります。

事業実績結果

（１）受託事業（一般）

会員の就業機会の確保及び会員の拡大を図るため、普及啓発部会を中心に市町の広報誌やホームページの活用の他、新たに小郡市役所のシティナビタ番号案内に会員募集広告を放映し広報活動を行いました。また、地域住民の皆様へシルバー人材センターをＰＲするため、３年ぶりにシルバーフェスタ２０２２を開催し多くの方に来場していただきました。

また、会員の希望や能力等に応じて、公平な就業機会の提供に努め、適正就業基準の推進、ローテーション就業などを進めました。

就業実績（派遣事業を含む）

項目	令和４年度	令和３年度	増減
年度末会員数	320 名	321 名	△1 名
就業実人員	301 名	303 名	△2 名
就業率	94.1％	94.4％	△0.3 ﾎﾟｲﾝﾄ
契約金額	155,092,916 円	157,035,430 円	△1,942,514 円

（2）受託事業（業務委託）

ア　小郡市高齢者社会活動支援センター管理業務

高齢者が持つ技能、技術、趣味及び特技を活かすことで、高齢者自身の生きがいを創出するための拠点づくりとして設置された小郡市高齢者社会活動支援センターも 17 年目を迎えました。センターでは多目的ホールを利用して、感染症対策を十分に講じたうえで高齢者が若い母親の育児支援を行うための託児ルームを設置し、ご利用していただきました。また自主事業として、地域の方を対象にパソコン教室やしめ縄講習会を開催しました。

会館利用者数　（単位：名）

部屋名	多目的ホール	会議室	合計
令和４年度	3,930	4,247	8,177
令和３年度	4,558	5,067	9,625

イ　ファミリー・サポート・センター事業

小郡市から委託を受けて運営を行っている「ファミリー・サポート・センター」は、開所して 8 年になり、仕事復帰を目前にしている人や、頼れる人がいないなど、困ったときの駆け込み寺のような機能を果たしています。

令和 4 年度も新型コロナウイルスの収束とはいきませんでしたが、感染対策を行うことで、通常に近い活動をすることができました。特に、救急救命講習については、つどいの広場 ぽかぽか と初の合同開催を行うなど、予定していた 24 時間の講習を全て開催することができました。

また、今年度は、事故予防の講習にも力を入れ、ワークショップを取り入れた参加型の講習にするなど、講習会の在り方も考えていきました。

現在の課題は、お子さんを預かる協力会員の不足です。地域を特定し事業の周知や講習会の呼びかけなどのチラシのポスティングも行いましたが、協力会員増には中々繋がっていない状況です。既存会員の高齢化により、活動の中心となってきた「送迎」を行える会員が不足しており、協力会員を増やすことが、最優先の課題となっています。

＜会員登録数＞　＜利用件数＞

依頼会員	協力会員	両方会員	会員合計	預かり	送迎	利用合計
347 名	71 名	9 名	427 名	117 名	353 名	470 名

（3）独自事業

高齢者の就業機会拡大のため、会員の創意と工夫により、就業を創出する事業として、刃物研ぎ、エアコン清掃、パソコン教室、石焼きいも販売、しめ縄販売、野菜販売、木工品販売の７つの独自事業を実施しました。

石焼きいも販売事業では、行動制限の緩和に伴い、イベントが一部復活し、多くの方に販売することができました。

契約金額実績　（単位：円）

職種	令和４年度	令和３年度	増減
刃物研ぎ	1,283,270	1,202,730	80,540
エアコン清掃	2,223,000	1,885,000	338,000
パソコン教室	234,850	343,210	△108,360
石焼きいも販売	2,216,259	1,757,180	459,079
しめ縄販売	322,930	270,800	52,130
野菜販売	239,005	154,180	84,825
木工品販売	364,440	524,905	△160,465
合　計	6,883,754	6,138,005	745,749

（4）労働者派遣事業

福岡県シルバー人材センター連合会の労働者派遣事業の小郡大刀洗事務所として、臨時的かつ短期的な就業または軽易な業務の範囲において、派遣労働を希望する会員を対象に、労働者派遣事業を実施しました。また、「労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律」に基づき、福岡県シルバー人材センター連合会と連携し、入職時訓練及び１年訓練を実施しました。

派遣事業実績

	令和４年度	令和３年度	増減
受注件数	55 件	56 件	△1 件
契約金額	41,175,311 円	36,123,740 円	5,051,571 円
手数料収入	2,461,717 円	2,169,104 円	292,613 円

（5）普及啓発事業

シルバー事業の意義を社会に広く周知するとともに、高齢者の加入を促進するために次の取り組みを計画していましたが、新型コロナウイルス感染症予防対策のため一部の行事を中止せざるを得ませんでした。

ア　全国普及啓発促進月間の取り組み

・役職員、会員による街頭チラシ配布（中止）
・小郡市長、大刀洗町長への要望活動
・県道鳥栖朝倉線のボランティア清掃作業
・総合保健福祉センター「あすてらす」にてＰＲ用ＤＶＤの放映

イ　広報活動

・会報「あすなろ」第 60 号、第 61 号を発行して全世帯に配付
・小郡市、大刀洗町の広報誌を活用したＰＲ
・公共施設へのポスター掲示
・ホームページによる会員募集の動画掲載
・小郡市役所シティナビタ番号案内にて会員募集広告を放映
・会員募集チラシを会員に配布してのポスティング
・女性会員拡大の推進

ウ　地域交流活動

・地域の小学生を対象にした夏休みこども工作教室の開催
・大刀洗町ドリームまつりへの参加
・出張サロン交流会の実施

エ　社会参加活動

・宝満川一斉清掃（中止）・花火大会会場清掃（中止）・西鉄小郡駅前周辺清掃
・ひばりロードレースコース清掃・大刀洗町運動公園清掃除草（中止）

（６）安全就業推進事業

ア　全体の状況

新規会員の入会がままならない中で会員の高年齢化が進み､その影響は安全就業にも多く及んでいます。安全就業基準指導要綱「就業年齢制限」では、運転業務を 80 歳になる年度末までとしているため、公用車の運転が出来なくなり、機材の運搬が出来ず本来の作業をすることが困難となるなどの課題も生じています。また、バランス感覚や筋力といった身体機能の低下によって、事故のリスクが増大していることから、高齢者に相応しい作業とするための視点を常に持つことが、より大切となってきました。危険要因はなるべく受注段階から排除するように努めましたが、このことは“高齢化する会員の安全”の確保にとって今後さらに重要なポイントとなります。

イ　傷害事故、賠償事故

令和４年度は１０件の事故が発生しました。これまで事故の約半数が剪定、刈払によるものでしたが、当年度は７割にまで増加しています。中でも剪定時に三脚から転落した事故では、頭部を打撲し大変心配されましたが、順調に回復されており重篤事故に至らずに安堵しました。ほんの少しの不安全な状況が大事故となることを全会員が肝に銘じ、自身のかけがえのない命に対してさらに慎重になって欲しいと思います。また、刈払時の石跳ねにより一事故の損害賠償額が百万円を超える事故が発生しました。“ネットを設置すれば大丈夫”ではなく、状況に合わせたきめ細

かな安全対策が必須です。

平成２９年度より６年続けて毎年１０件以上の事故が発生しております。このままの状況が続くと保険契約が難しくなる可能性もあり、何より重大事故の発生に繋がりかねず、早急な改善が求められます。

年度	傷害事故	賠償責任事故	交通事故（物損）	合計
令和４年度	３件	６件	１件	１０件
令和３年度	４件	５件	２件	１１件

ウ　安全就業委員会

安全意識の向上と会員間の情報共有という観点から、「私の安全への取り組み」と題して日頃の安全対策や工夫・改善の提出を全会員に呼びかけましたが、１割程度の会員から応募があったのみとなりました。１１月に実施した安全就業促進大会も出席率は４２％と半数に届きませんでした。会員の参画意識が低下しており、入会して年数があまり経たない会員にこの傾向は大きくなっています。委員会では“自分ごと”として安全意識を高めてもらうよう、無事故チャレンジ運動推進キャンペーン等を実施しております。

安全就業基準指導要綱「安全義務違反罰則」の運用について、大牟田市シルバー人材センターに研修に行くなど一年をかけて検討してまいりました。当初、違反の“抑止力”とする位置づけで制定した罰則ですが、ここ数年の委員会で「何度注意しても安全ルールを守らない会員等には適用するべきだ。」という意見があがり、再度具体的な運用方法を見直したものです。当然ながら罰則強化ではなく、あくまでも“会員自身がケガをしない”“他人に損害を与えない”ことを目的としております。

（７）相談事業

ア 入会説明会・入会相談会の開催

シルバー人材センターに興味を持たれている高齢者のために、入会希望者説明会を、小郡市と大刀洗町でそれぞれ毎月２回開催しました。また、入会しようと思われた方には、その後入会申込者説明会を開催し、センター事業をよく理解したうえで会員登録をして頂きました。

入会希望者説明会実績

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
参加者	5	2	6	5	1	5	5	5	6	16	6	11	73

イ 就業相談の実施

令和5年1月に会員を対象に就業相談日を設け、就業相談を行いました。また、地域の高齢者を対象に、来訪や電話による就業相談や入会促進を行いました。

（８）研修・講習事業

就業に必要となる基礎的な知識や技能を身に付け、会員のスキルアップを図るため講習会及び研修会の実施を計画しました。研修会・講習会の際には、新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じて実施してきたところです。

講習会実施状況

講習会名	内　容	参加人数
片付け講習	片付けの基本、片付け方法について	14
子育て支援講習	子どもの預かりと安全について	23
接遇講習会	現場で使える接遇マナーについて	115
しめ縄づくり講習	しめ縄の作成	16
チェンソー安全操作講習	チェンソー操作の安全な取扱い	20
合　計		188